

追悼：mocomoco-sherbetさん

キッチン・ファーマシー (<http://joytoeat.exblog.jp/>) の mocomoco さんが1月5日に亡くなりました。パン、お菓子、創作料理、手仕事、日々の暮らし。優れたセンスと多彩な才能を感じさせるブログでした。

放射線治療を受けるために広島から当センターに入院されていた2008年秋ごろ、にとな文庫でお会いしました。三角ストールがよく似合う異国的で端正な容姿、情熱的な黒い瞳、忘れがたい印象の人でした。情報を求められることはなく、バンサンの絵本をながめたり、趣味の話や世間話をしました。

にとな文庫を「ちょっとしたオアシスのような、病院中で、唯一病院らしくない、ぽっかり浮いた場所」と表現されました。そのイメージにかなう場所であり続けたいと思いました。

広島に帰られて、「お粥道」というブログを開設。私の郷里の岩国茶がゆもアップされました。やがてレパトリリーが広がり、キッチン・ファーマシーという名称になりました。治療のための中断が何度かありましたが、mocomocoさんはそのたびに復帰を果たし、新たな創作に挑戦して期待に応えてくださいました。

お互いの郷里が近かったので、私が帰省中に錦帯橋で再会しました。民家に飾られたお雛さまを見て歩き、骨董屋をのぞき、岩国寿司を食べました。小雪が舞う寒い日でしたが、ほっこりする大切な思い出です。

今年の年賀状に「緩和ケア病棟に住んでいます。ブログができないのが不便です」とあり、心配になってメールをしたら、すぐに「早くなんとか活動を再開したいです」という返信がきました。2日にはブログ再開。「義兄のおかげで病室から発信できるようになりました」とあり、4日の「ここでの生活」の書き込みの最後には「絵手紙やアロマセラピーに参加してみようかな」とあったので、少し安心して「絵手紙アップしてね」とコメントしました。しかしその後、ご友人の書き込みで、5日に亡くなっていたことを知りました。

新しい年にブログを再開し、書き込みを開始した翌日の急逝でした。

昨年12月4日にアップされたクリスマス・リース（美しい...）が、mocomocoさんの最後の創作です。

mocomocoさん、ありがとう。天国で活動を再開しているかな？いつかまた会いましょうね。（nitona）

千葉県がんセンターにとな文庫 下原 康子